

No410

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合

☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

令和元年5月号

編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443



第53回通常総会を開催

新理事長に北島憲高氏が

初めての青年部出身に期待



第五十三回通常総会は、五月二十三日(木)午後四時半より、台東区の「上野東天紅」に於いて開催され、各議案がすべて満場一致で可決承認されました。

高橋理事の司会で定数を満たしているため総会は設立する旨が宣言され、議長に渡邊正一顧問を選出して議案の審議に入りました。第一号議案・平成三十九年度事業報告及び決算関係書類承認の件は、本間敏道専務理事が原案を朗読し、続いて森田賢氏(代読)が監査

報告を行い、満場一致で可決承認されました。

第二号議案・令和元年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件では、本間専務理事が事業計画と収支予算案を朗読し、満場一致で可決承認されました。

第三号議案・令和元年度における借入れ金額の最高限度額決定の件についても、従来どおり二千万円とした

いと説明があり、第四号議案・役員報酬決定の件でも従来どおり支給しない旨を説明し、いずれも満場一致で可決承認されました。

第五号議案・定款一部変更の件については、本間専務理事より組合員減少のため、組合の効率的な運営を図るために、理事の定数を減少する定款一部変更について説明し承認されました。

第六号議案・理事・監事選挙の件では、渡邊議長より例年通り指名推薦制を取りたい旨が説明し、選考委員

長に本堂誠氏、選考委員に高橋邦浩氏、本間敏道氏が指名され、別室に於いて選考委員会が開かれた結果、

別紙の通り理事八名、監事二名が候補として委員長より発表され渡邊議長から新理事について承認を求めた結果、満場一致で承認されました。

引き続き第一回目の理事会が別室で開催され、理事長に北島憲高氏、副理事長に平山良一氏、専務理事

長に平山良一氏、専務理事に本間敏道氏がそれぞれ選出され、総会は無事終了しました。

総会終了後会場を移して、協賛会員、ご来賓、報道関係者を交えて恒例の懇親会が開催され、本間専務理事の司会で初めに総会が無事終了し新たなスタート

が切られたことが報告され、ご来賓の紹介の後、新役員が紹介されました。

挨拶に立った北島新理事長は「平成から令和という新しい時代の幕開けに理

な特徴があり、ここまで成長してきました。しかし、これからはお客さんをただ待つのではなく、我々はこのいうものも作れるんですよという、物づくりの精神を發揮していきたいと思っています。組合活動を通して学べることはたくさんあると思います。自分の所ではできないことも、同業の方たちの知恵をお互いに供与しあつて業界を発展させられるようにこれから頑張つてまいりますので、何卒ご協力のほどお願いいたします」と語りました。

続いて「来賓の挨拶として、東京都中小企業団体中央会の橋北隆総務課長と協賛会の西尾弘之会長がそれぞれ祝辞を述べました。

この後渡邊正一顧問の音頭で出席者全員で乾杯をし、和やかな歓談が繰り広げられ、午後八時に平山良一副理事長が中締め挨拶に立ち、「これまで六年間理事長としてやってきました

が。これと言った成果も出せませんでしたが、今度は若い理事長が誕生しましたので、これからも組合員及

び協賛会の方々も今まで以上にこの若い理事長を支えていってほしいと思います」と語り、景気よく三本締めめでたく閉会となりました。

新役員は次の通り。

- 理事長・北島憲高(北島シール印刷所) ■ 副理事長・平山良一(日本ラベル)
- 専務理事・本間敏道(事務局)
- 理事・高橋邦浩(アームシール)、本堂誠(サン技研)、狩野浩行(シーレックス)、藤井崇徳(大進ラベル)、栗原正行(アイケイ印刷) ■ 監事・植田治司(丸吾)、坂内仁英(光英堂シール印刷)

令和元年度事業計画

実施事業

1. 技術・環境対策委員会
新技術、新商品の積極的な開発と環境問題、リサイクル化に取り組む

- ① ラベル関連ミニ機材展の開催

- ② R P F 化によるリサイクル化事業のさらなる普及・啓蒙

- ③ 製版技術の C T P 化による進歩に遅れないための版や刃型などの使用方法についての勉強会の実施
- ④ デジタルプリンターの将来性と課題について検討する

2. 教育・経営委員会

- 経営者と従業員の意識改革と、資質の向上を目的にした各種事業を実施する。
- ① 人材の育成を指した、経営者、従業員への教育支援「出前・出張講座」の実施

- ② 環境対応へのシール・印刷グリーンプリンティン(G P) 認定取得支援

- ③ 小規模・零細企業向けの簡易版事業継続計画(B C P) の推進

3. 広報・情報システム委員会

- 組合員に対し迅速な情報の提供と、組合事業の広報活動を積極的に行い、多様な情報化時代への対応をはかる。
- ① 組合機関紙『ラベルニュース』のよりいっそうの紙面充実をはかる。

- ② 組合ホームページの内容について、大幅な見直しとその活用方法の研究

- ③ 国や東京都などの金融情報、助成金情報の迅速な提供をはかる。
- ④ 「2019年、2020年版組合員名簿」の発行

4. 福利厚生委員会

- 組合員および従業員の福利厚生に関する各種事業を行い、ゆとりと余裕のある労働環境構築に努める。
- ① 従業員対象の働き方改革の徹底、有給休暇取得率のアップを図る。

- ② 組合研修旅行とボーリング大会の実施など組合員、従業員を対象にした福利厚生事業の充実

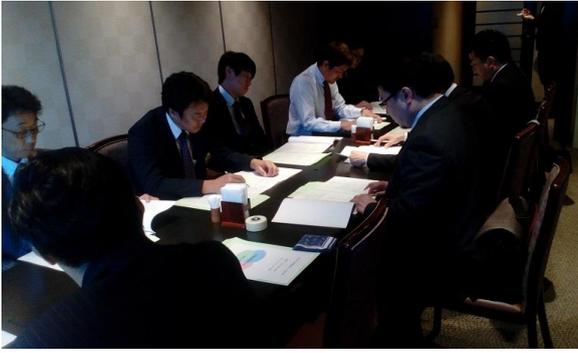
- ③ 育児休業や介護休業法など関連法規の周知徹底。

5. 事業委員会

- ① 組合財政の基盤強化のために、副資材の共同購入と新たな事業収入の道を探る。

- ② 雄型用紙等、副資材等組合取扱商品の使用方法をホームページで紹介

- ③ 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。
- ④ 組合取扱商品の拡大と P R に努める



青年部第35回総会開催

新部長に北島國芳氏が

「enjoy ラベル!」テーマ

第35回青年部総会風景と新部長の北島國芳氏

青年部の第三十五回通常総会は、五月十七日に台東区秋葉原の「肉の万世」に於いて開催され、役員改選では新部長に北島國芳氏が選出されました。

総会は第一号議案・平成三十年事業報告、第二号議案・平成三十年度会計報告、第三号議案・平成三十年度監査報告、第四号議案・令和元年度役員改選、第五号議案・令和元年度事業計画、第六号議案・令和元年度予算案を審議し、すべて満場一致で可決承認されました。

役員改選では、藤井崇徳部長から、新たに北島國芳氏が選出され、挨拶に立った北島新部長は「これまで以上に青年部を活性化させ皆さんのご協力を得ながら頑張りたいと思います」と語りました。

新役員は次の通り。

部長・北島國芳（北島シール印刷所）、副部長・山崎俊（旭物産）、副部長会計・藤井崇徳（大進ラベル印刷）、理事・弓納持大輔（昇栄シール）

令和元年度事業計画



日印産連が発表

社会責任報告書を

日本印刷産業連合会（金子眞吾会長）は、このほど「社会責任報告書二〇一八〜二〇一九」を発表しました。

日印産連では、二〇一五年に国連において採択された持続可能な開発目標であ

るSDGsの達成にむけ、印刷業界としての取り組みを始めています。

二〇一八年度からはSDGsの目標達成に向かって活動するプロジェクト組織を設置し、「価値創出」、「企業行動」、「地球環境」、「広報」の四つの委員会と連動しながら、具体的な計画を立案し事業を開始しています。

この報告書の中では、日印産連の取り組みとSDGs十七のゴールとの関連性を分析し、その内容をとりまとめられています。

内容は①サステナブルな地球環境に向けて②社会の期待に応える誠実な企業行動③価値創出に向けて④社会との情報発信の四つで構成されています。

私たちは最も身近なものは、グリーンプリンティング（GP）認定制度で、GP認定制度のメリットと認定制度の特徴、印刷製品のGPマークの表示、GP認定制度の普及と地球環境保全などについて詳細に書かれています。

第61回 年次大会

開催地：滋賀県大津市 浜大津港周辺
式典 / 琵琶湖ホテル
懇親会 / 船上ナイトクルーズ



**令和の時代
初の全国大会
奮ってご参加下さい。**

ミシガン アメリカ風の外輪船。低床デッキなので湖面に近く、びわ湖の水に親しみやすい設計になっています。広いオープンデッキに上げれば気分爽快！

大会参加費：おひとり 18,000円

開催日：2019年10月25日(金)
大会プログラム

受付 13時00分～
大会式典 14時00分～
講演会 15時45分～
懇親会 — 船上ナイトクルーズ — 17時30分～
第29回 シールラベルコンテスト作品展示 12時00分～

関連行事等

全日本シール印刷協同組合連合会 三役委員長会議 11時30分～
全日本シール印刷青年部協議会(JS)総会 11時15分～
全日本シール印刷青年部協議会(JS)交流会 12時30分～
(時間は変更になるかもしれません)

びわ湖大会

「三方よし」の精神で
令和の時代を！

ピアンカ スタイリッシュなクルーザー。船内のオシャレな空間では、披露宴やパーティーをびわ湖ならではのクルーズと同時に楽しめます。



大会当日お泊りの方へ
宿の手配はお早めに！

外国人観光客等の増加に伴い宿の確保が困難になる事が予想されます。京都協組でもお部屋の確保に努めますが数に限りがあります。お早めに手配していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

式典会場：琵琶湖ホテル

※式典会場の琵琶湖ホテルがある浜大津港へは、JR 大津駅からホテルのマイクロバスがビストン運行しておりますが、徒歩でも10分圏内です。(なお JR京都駅～大津駅間の所要時間は10分です)



エクスカーション

お茶屋で芸舞妓と楽しいひとときを！

(京都・祇園へはバスで移動します)

定員60名(先着) おひとり 15,000円

第29回シールラベルコンテスト

最新情報は
京都協組の
フェイスブックページ
まで▶

規定課題は連合会ホームページにて公開中
<http://www.seal.gr.jp/>



第六十一回年次大会琵琶湖大会
懇親会は船上ナイトクルーズを



竣工した国内最大級の京都第一工場

日本ウエスト(長田和志社長)は、三月に国内最大級のRPF(固形燃料)工場を京都市内の本社隣接地に建設し、すでに順調に稼働している。新工場は延べ一六一七㎡で、原料の破砕機二機と固形燃料の三機を備え、RPFの月間生産量は約四千二百トンで、隣接する既存工場と合わせて月産六千七百トンとなり、グループ全体では自社四工場と提携人工

日本ウエストが新工場建設
月産国内最大級のRPF工場に

場併せて一万七千トンで、国内最大級の設備となった。新工場の大きな特徴は、破砕原料を配管で風送し、ベルトコンベアを使用しないことよって粉塵や異物混入を防ぐだけでなく、コンパクトなレイアウトを実現したことです。これは作業効率を向上させ、人手不足の解消にもつながり、コストダウンも図れるというメリットもあるが、それ以上に目を引いたのは、産業廃棄物という性質上、どうしても避けられない火災への対応で、すべてのラインにスプリンクラーの設備を施しており、火災には万全の対策を取っていること。長田社長は「廃プラスチックの問題は世界的な課題になっていきますが、今後さらにRPFの需要が高まる事が予想されるので対応していきたい」と語っています。

リンテック入社式 八十一名が 西尾社長が『至誠と創造』訴える

リンテック(西尾弘之社長)では、四月二日に今年度採用の新入社員(本社採用四十二人、工場・支店採用三十九人計八十一人)の入社式を行い、西尾社長が次のようなメッセージを贈りました。

メッセージの骨子は次の通り。

○リンテックグループは、今日から中期経営計画「LIP-2019」の最終年度を迎えた。残念ながら厳しい市況に打ち勝つことができず、その進捗は極めて難しい状況になっている。そうした中、皆さんにはまず与えられた仕事をきちんとこなしていくことをお願いしたい。

同時に、働きやすく、高いモチベーションを維持できる会社とはどうあるべきか、フレキシブルな視点で、先輩社員に建設的な意見を伝えてほしい。「働き方改革」という言葉をよく耳にすると、思うが、働き方改革とは、「会社の幸せ」と「個人の幸せ」を同時に追求すること。言い換えると、生産性の向上と社員の生活の質的向上をどう両立するかを考

で、与えられた仕事がどんな仕事であっても、情熱と責任感を持って成し遂げてほしい。一生懸命、誠意を持って取り組めば取り組むほど、苦労すれば苦労するほど、成し遂げた後の達成感は大きく、仕事が楽しくなってくるはず。その結果、お客様から、会社の仲間から、先輩から喜ばれ、信頼され、皆さん自身のモチベーションも高まるという好循環が生まれる。

え、改善策に取り組むこと。これは、経営者や管理職だけの仕事ではなく、皆さんを含めて全社員で取り組んでいかないと実現できない。大きなテーマといえる。

○将来自分はどうなりたいか、どういう会社になりたいか。将来に向けた夢を持ち、それに向かって努力すること、仕事に対するモチベーションをキープするため

○皆さんの若さは、会社にとっても皆さん自身にとっても、かけがいのない財産である。新鮮な目と、感覚で「なぜだろう」、「こうしたほうが良いのでは」といった、初めて社会に出るからこそ浮かび上がる疑問や問題意識を強く持ち、それを発信してほしい。加えて、皆さんには独自のカラーを身に着け、自分のいいところを伸ばしてほしい。当社には、「至誠と創造」という社是・経営の基本方針がある。皆さんには誠意、思いやりの心を忘れることなく、創造の精神、すなわち新たなものを創り出そうという情熱を持って、これからの社会人生活を送っていただきたいと思う。

○会社は持続的成長を目指すし、そして持続可能な社会づくりに貢献しなければならぬ。そのためには、皆さんが自ら成長し、会社をリードしていかなくてはならない。今日、皆さんが抱いている高い志を今後も持ち続け、一日一日を全力

「分らない」といったネガティブな言葉を努めて言わない。常にポジティブな考えで行動し、たとえ失敗しても「もう駄目だ」とすぐ

メディアテクノロジー
ジャパンが社名変更



「まだだめだ、どうしよう」と再度奮起し、自分が納得するまで仕事に取り組んでほしい。

（株）メディアテクノロジー
ジャパンは、このほど社名を『SCREEN GP ジャパン』と変更しました。住所、電話番号、FAXは変更なし。

■膠原病とは

膠原病(こうげんびょう)という名前は時おり耳にする病名ですが、どんな病気なのかについては意外に知られていません。膠原病とは一つの病気を指すのではなく、共通する性質の病気を総称する言葉です。

No159 健康がいちばん!

よく耳にする「膠原病」とは 関節リウマチなどの総称

チ、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群などを指します。共通する症状は関節の腫れやこわばり、痛みが挙げられます。また病気が進行すると臓器にも障害が現れるようになります。

とはいえ、膠原病は臓器そのものに異常を生じる病気ではありません。細胞と細胞の間にある結合組織に異常が現れるのです。細胞同士を結び付けているものを膠原繊維(コラーゲン)といい、これが膠原病の名のもとになっているのです。結合組織は全身に存在していますので関節や臓器など、どこでも症状が現れる可能性があります。

なぜ膠原病が発症するのか、その原因は免疫機能の異常にあります。人体には異物である細菌やウイルスを排除する「免疫」という機能が備わっていますが、膠原病ではこの機能に異常が起こって自分の身体を異物として認識してしまい、それを排除しようとするのです。これを「自己免疫反応」と言います。

■初期症状とは

個々の病気によって異なりますが、主な症状は次のようなものがあります。「関節の腫れ・こわばり・痛み」「発熱」「疲労感が続く」「体重の減少」「筋力の低下・筋肉痛」「皮膚に紅斑や紫斑が現れる」「レイノー

現象(寒さに当たると指先が白くなる)」。膠原病の初期症状はカゼの症状に似ており、生活にもさほど支障はありません。しかし、進行すると関節に変形が現れたり臓器に障害が起こるなど、日常生活に不自由を感じるようになっていきます。一度進んでしまった障害は元に戻らないため、病気を早期に見つけて進行をくい止める必要があります。

■治療法とは

治療の中心は薬物療法で、関節や臓器の障害を防ぐ目的で行われます。薬で炎症を軽減させたり自己免疫反応を抑えたりします。

いずれにしても早期から治療を始めるのが大切です。また、薬の服用と同時に日常生活でも気をつけたいこ

とがあります。それは①疲労を溜めないこと。特に十分な睡眠時間を確保するのが大切②病状が安定しているときは、なるべく身体を動かしたり運動療法としての体操をしたりして、筋肉や関節の機能を維持するようにする③身体、特に関節を冷やさないことも大切。衣服や室温をこまめに調節し、入浴などで身体の保温を心掛ける④治療中は感染症に罹りやすくなるため、うがいや手洗いを励行し身体に傷が出来ないように気を付けることも必要、の各点です。

膠原病の初期症状はカゼなど他の病気と似ている点が多いので、症状だけで病気を診断できません。気になる症状があれば医師に相談して血液検査などの検査を受けてください。膠原病を早期に見できれば、良い状態を保ってこれまで通りの生活が可能なのです。

《参考資料》

<http://www.minamitohoku.n.or.jp/>

■その特徴とは

膠原病は関節リュウマチ